

Safety and Environment Center for Petroleum  
Development

SEC ニュース

一般財団法人 エンジニアリング協会

石油開発環境安全センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19  
(虎ノ門マリビル 10 階)

TEL(03)5405-7205/FAX(03)5405-8201

URL: <http://www.ena.or.jp/SEC/>

## 第 93 号 / 2015. 4

- 平成 26 年度委員会・部会報告
  - ・ 第 2 回企画委員会
  - ・ 第 4 回企画技術部会
- 平成 27 年度 SEC の重点事業について
- 平成 27 年度 SEC の事務局体制について
- 会員の広場
  - ・ 講習会・新潟フォーラム 参加報告
- 会員の皆様へのお知らせ
  - ・ ENAA 研究成果発表会 2015 のお知らせ (予告)

### ■ 委員会・部会 報告 ■

#### □ 平成 26 年度第 2 回企画委員会

日時：3 月 12 日(木) 16:00~17:35

議事：前野専務理事より開会の挨拶ののち福島部会長の議事進行により議事次第に従い、報告事項の説明が各担当者よりなされた。

(1) 平成 26 年度企画技術部会活動概要と平成 27 年度活動計画について報告がなされた。

【報告】

- ①「SEC テーマ検討分科会」
- ②「資源分科会」
- ③「エネルギー分科会」

(2) 平成 26 年度受託事業活動概要および平成 27 年度事業実行計画について報告がなされた。

【報告】

- ①メタンハイドレート開発に係る海洋生態系への影響評価のための基礎研究概要報告
- ②大水深海底鉱山保安対策調査 (大水深海底鉱山開発危害・鉱害防止調査)  
大水深海底鉱山保安対策調査 (大水深海底環境影響検討調査)

(3) 平成 27 年度事業計画(案)について事務局より説明がなされ、了承された。【審議項目 1】  
新規事業としては「環境・安全を基本とした新規技術および新興地域の発展に貢献する当センターが取り組むべきテーマ、調査プロジェクト等の創出に向け活動する」こととした。

(4) 平成 27 年度予算(案)について事務局より説明がなされ、了承された。【審議項目 2】

(5) その他 来年度委員委嘱について、来年度企画委員会予定について 【連絡他】

## □ 平成 26 年度第 4 回企画技術部会

日時：3 月 4 日(水) 16：00～17：45

議事

山田所長の挨拶ののち福島部会長の議事進行により(1)～(3)の報告事項、審議事項の説明が各担当者よりなされた。

(1)平成 26 年度企画技術部会活動概要と平成 27 年度活動計画について報告がなされた。

【報告】

- ①「SEC テーマ検討分科会」
- ②「資源分科会」
- ③「エネルギー分科会」

(2)平成 26 年度受託事業活動概要および平成 27 年度事業実行計画について報告がなされた。

【報告】

- ①メタンハイドレート開発に係る海洋生態系への影響評価のための基礎研究概要報告
- ②大水深海底鉱山保安対策調査（大水深海底鉱山開発危害・鉱害防止調査）  
大水深海底鉱山保安対策調査（大水深海底環境影響検討調査）

(3)平成 27 年度事業計画(案)について事務局より説明がなされ、了承された。【審議項目 1】  
新規事業としては「環境・安全を基本とした新規技術および新興地域の発展に貢献する当  
センターが取り組むべきテーマ、調査プロジェクト等の創出に向け活動する」こととした。

## ■平成 27 年度 SEC の重点事業について ■

- 1) 受託事業メタンハイドレート開発環境影響評価事業、大水深海底鉱山保安対策調査事業の実施
- 2) テーマ検討会、資源、エネルギー、環境分科会活動等、事業獲得に向けた自主活動の活性化
- 3) 技術部、海洋開発室、地下センターと連携し、E N A A 横断プロジェクトの創出

## ■平成 27 年度 SEC の事務局体制について ■

4 月 1 日付けで SEC メンバーの異動がありました。

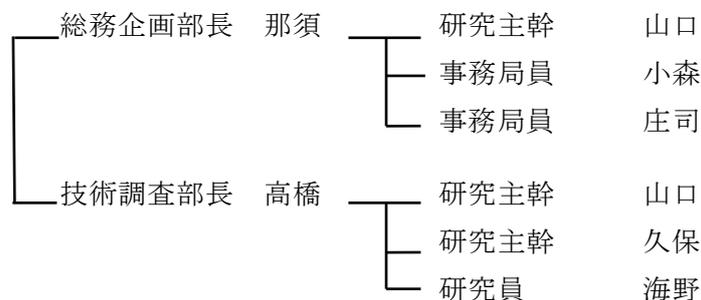
新たな体制の下でエンジニアリング産業の発展のために努力してまいりますので、皆様のご指導ご協力を宜しくお願い申し上げます。

1. 新任  
研究主幹 久保智司 石油資源開発㈱
2. 退任  
研究主幹 青柳敏行 石油資源開発㈱へ復職

## 《体制図》

石油開発環境安全センター

所 長 山田



## 《ご挨拶》

□退任の挨拶

### ・青柳 敏行

この度、本年4月1日付にて、出向元である石油資源開発㈱へ復帰することとなりました。SECには平成24年4月1日に着任しましたので、丁度3年間在職しましたが、その間、特に、経済産業省受託事業である「大水深海底鉦山保安対策調査」および自主事業の資源分科会事務局を、各々、平成25年度と平成26年度の2年間担当し、賛助会員企業の方々には大変お世話になりました。出向元ではHSE（Health, Safety and Environment）の業務を担当する予定ですが、SEC在任中と同様、何卒、宜しく願い申し上げます。

□新任の挨拶

### ・久保 智司

石油資源開発㈱より出向してまいりましたクボサトシと申します。専門は作井です。これまで会社では主に地熱の開発に携わってきましたが、油ガス井の掘削作業、重質油開発プロジェクトやメタンハイドレート開発プロジェクトも経験してまいりました。これからは会員各位のご意見を賜りながら、ENAA/SECの立場で皆様のお役に立てるよう邁進してまいりたい、と考えておりますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## ■会員の広場■（参加した講演会、学会、シンポジウム等）

### 【講習会：「最新の坑井掘削技術」参加報告】

平成27年2月19日（木）、連合会館（新御茶ノ水）にて開催された講習会に、大水深海底鉦山保安対策調査に関連して石油・天然ガスの最新の坑井掘削技術について情報収集のため参加して来ました。講師は、東京大学大学院工学系研究科エネルギー・資源フロンティアセンター 長縄先生で、最新の坑井掘削技術の基礎から応用までを、非在来型石油・天然ガスやCO<sub>2</sub>地中貯留等に触れながら分かりやすく解説されました。環境・安全を基本とした新規技術および新興地域の発展に貢献する当センターが取り組むべきテーマ、調査プロジェクト等の検討に活かしていきたいと思っております。

（記：那須 卓）

## 【海洋メタンハイドレートの資源開発と環境保全に関する新潟フォーラム参加報告】

平成27年2月24日に新潟市『朱鷺メッセ』において「海洋メタンハイドレートの資源開発と環境保全に関する新潟フォーラム」が開催されました。午前是一般向け講演会、午後は専門家研究発表セッションという2部構成で進められました。

午前：一般向け講演会

- ・メタンハイドレート資源開発の現状  
(産総研・メタンハイドレート研究センター 研究センター長 成田英夫)
- ・日本近海の地質調査とメタンハイドレート  
(産総研・地圏資源環境研究部門 森田澄人)
- ・メタンハイドレートの開発に向けて  
(三井造船(株)海洋事業推進部 加藤寿仁)

午後：専門家研究発表セッション

### 1. 海洋・湖底メタンハイドレート調査

- ・バイカル湖の表層型メタンハイドレートを対象にしたコーン貫入試験  
(清水建設(株)技術研究所 西尾伸也)
- ・新潟沖等で発見されたブルームと浅海底の表層型メタンハイドレート  
(株)独立総合研究所 青山千春)

### 2. メタンハイドレート生産、回収技術

- ・砂層型メタンハイドレート生産原理と室内実験成果のレビュー  
(産総研 メタンハイドレート研究センター 長尾二郎)
- ・加熱時のメタンハイドレートを含む砂の温度・変形挙動  
(山口大学大学院理工学研究科(工学) 吉本憲正)
- ・坑井-地層間の接触面強度を用いた近傍での力学挙動の解析  
(産総研 メタンハイドレート研究センター 覺本真代)

### 3. ガスハイドレート利用技術

- ・セミクラスレートハイドレートによるCO<sub>2</sub>分離  
(新潟大学 自然科学研究科 小松博幸)
- ・フッ素系温室効果ガスハイドレート分離回収技術に関する研究  
(新潟大学 自然科学研究科 多島秀男)

### 4. 海洋環境および海底地盤環境への影響評価と保全技術

- ・メタンハイドレート層圧力コアの三軸圧縮試験システムの開発  
(産総研 メタンハイドレート研究センター 米田純)
- ・模擬メタンハイドレート含有砂の三軸圧縮特性  
(産総研 メタンハイドレート研究センター 榎井明)
- ・高圧リングせん断試験による砂の大変位せん断と浸透率と微視的構造変化  
(産総研 メタンハイドレート研究センター 木村匠)
- ・繰返し载荷三軸試験と海底地すべり可能性  
(産総研 メタンハイドレート研究センター 野田翔兵)
- ・メタンハイドレート代替物を用いた海底地すべりの実験的研究

(新潟大学 災害・復興科学研究所 福岡浩)

(記：海野 圭祐)

## ■ 会員の皆様へのお知らせ ■

### □ ENAA 研究成果発表会 2015 のお知らせ (予告)

ENAA 研究成果発表会 2015 を 7 月 6 日(月) ENAA 本部、7 日(火)石油センター／地下センターで 2 日間を予定しております。詳細は決定次第 HP に掲載致します。



2015 新年度が始まりました。石油開発環境安全センターでは新たな体制にて事務局一同力を合わせ活動を開始致しましたので、引き続き皆様のご指導ご鞭撻を賜りたくよろしくお願ひ申し上げます 